Dream Dome **学習デスク　取扱説明書（保証書付き）**

WIN-2TI-DD1

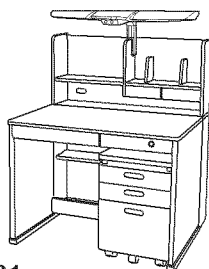
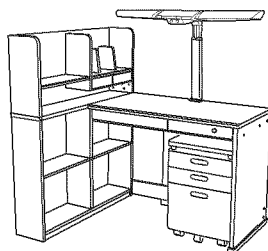
保存用

⚠ このたびはドリームドーム学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
- お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

■組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3 と、用途に応じて3 種類のスタイルに組立てることができます。どのスタイルにするか決めてから組立ててください。

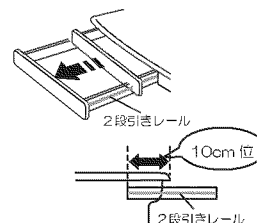
※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。

●STEP1
（スタンダードタイプ）

●STEP2
（ユニットデスクタイプ）

●STEP3
（セパレートタイプ）

●展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
●力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

品番　DDF-974SK
DDF-975NS
DDF-976WS

■引き出しがかたくなったときは．．．

●デスク引き出しには、2段引きレールを使用しています。
このレールの構造特性上、引き出しを最後まで引き出さず、開閉をくりかえし使い続けた場合、引き出しがかたくなることがありますが、故障ではありません。
数回に分けて少し強く引き、最後まで引き出してください。

●これでも改善されない場合は、レールの破損も考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用上のご注意

●けが・破損の原因になります。
机や椅子の上に立ったり、飛んだり、踏み台代わりに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしない。
引き出しや引き手の上に乗ったり、扉等にぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしない。
固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない。
●やけどの原因になります。
点灯中や消灯直後のランプ及びその周辺をさわらない。
●火災の原因になります。
器具やランプに布、紙等をかぶせたり、近づけたりしない。
●火災、過熱の原因になります。
タコ足配線はしない。
●火災、感電の原因になります。
コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない。
電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない。
差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

点検と修理が必要なとき

1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときはお買い上げの販売店にご相談ください。
●コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
●器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。
●電流ヒューズの交換　●ランプの交換
⊘器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。

無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

学習机保証書

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
④消耗品の消耗、又はそれによる故障
⑤本書のご提示がない場合
⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

＊ご販売店様へ 必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	（デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）
お客様	お名前
	ご住所　〒 電話番号（　　　）　　—

お買い上げ日	販売店名・住所・電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06（6658）7382

（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

1 シェルフの組立て方法 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

■シェルフ付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

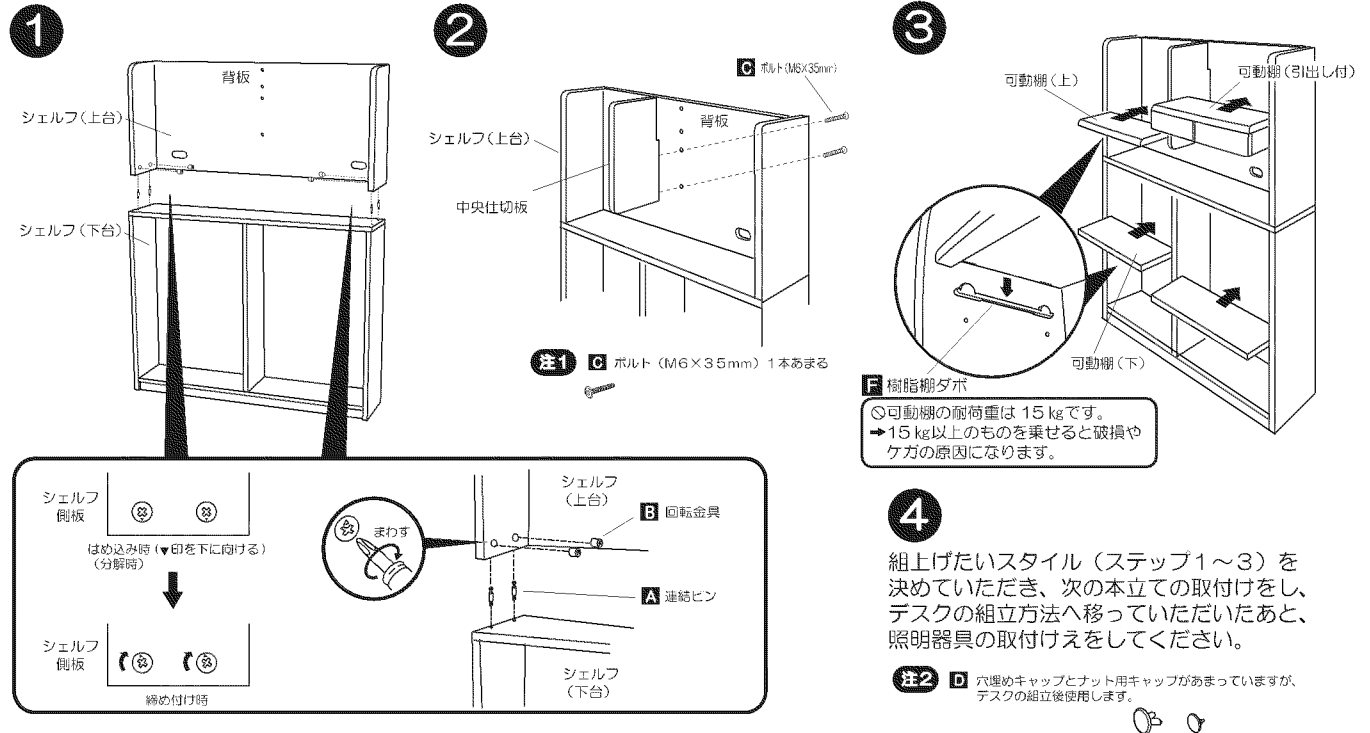
A 連結ピン	B 回転金具	C ボルト(M6×35mm)	D 穴埋めキャップ	ナット用キャップ	F 樹脂棚ダボ	転倒防止金具	G エンド大引用連結金具	H ボルト(M8×20mm)	コンセントボックス
	梱包名「ミドルシェルフ」に同梱されている部品								
SZC8MB605	SZC8MKN18	WIN6BU635	SZC9AC18V (SZC9AC18R)	SZC9DC07V (SZC7DC06R)	SZCTTD09G	SZC8TN002	SZCTLKSUL	WIN8BU620	KRE9SW10L
×4	×4	×3	×1	×1	×8	1セット	×2	×6	×1

注1 C ボルト(M6×35mm)3本の内1本は、ライト付属部品のコンセントボックス固定用です。

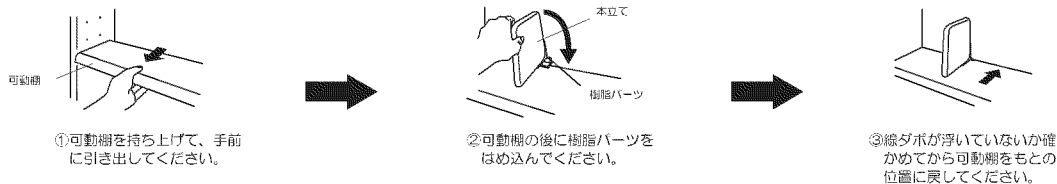
注2 D 穴埋めキャップとナット用キャップは、デスクの組立後使用します。

4

組上げたいスタイル(ステップ1〜3)を決めていただき、次の本立ての取付けをし、デスクの組立方法へ移っていただいたあと、照明器具の取付けえをしてください。

注2 D 穴埋めキャップとナット用キャップがあまっていますが、デスクの組立後使用します。

2 本立ての取り付け方法 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

①可動棚への取付け方法

※着脱可動仕切板を取付ける際は、上に物が乗っていないことを確認してください。

可動棚　本立て　樹脂パーツ

①可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。

②可動棚の後に樹脂パーツをはめ込んでください。

③線ダボが浮いていないか確かめてから可動棚をもとの位置に戻してください。

3 照明器具の取り付け方法 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

<SB-048>

セード
電源コード
点滅スイッチ(右)
点滅スイッチ(左)
差し込みプラグ

■ライト付属品

■付属品

A	B
クランプ取付けボルト M6X15(短) ×2	クランプ ×1

A のボルトはクランプの後にテープ止めしてあります。

⚠設置のご注意

⊘不安定な場所、状態での使用は避け、クランプを使用する場合はクランプを机等に十分にはめて確実に取付けてください。
(クランプの取付けは、SB-048は40mmまで取付可能です。)
また、強度の弱い箇所(しなる、曲がる、反る)には取付けないでください。
はめ込み及びクランプ止めネジの締め付けが不十分な場合、ガタツキ、倒れ等の原因になります。
なお、安全のため取付け後可動させてゆがみがないか、ガタツキがないか再確認してください。傾斜した机等に取付けますと正常な可動ができません。棚にボルトで締め付けて固定させた場合も取付け後に安全の確認をしてください。

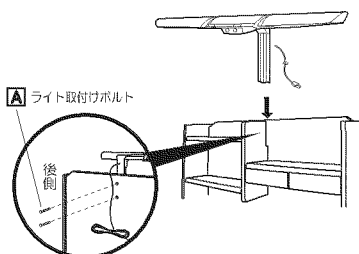
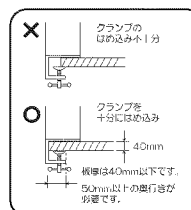
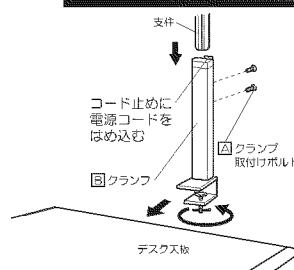
STEP1 の場合

A ライト取付けボルト
後側

STEP2、STEP3 の場合

支柱
コード止めに電源コードをはめ込む
A クランプ取付けボルト
B クランプ
デスク天板

× クランプのはめ込み不十分

○ クランプを十分にはめ込み　40mm　板厚は40mm以下です。50mm以上の奥行きが必要です。

■クランプでの取付け方法

①クランプ本体を机にはさみ込んでハンドルを回して、回らなくなるまで締めてください。
②ライト支柱をクランプの支柱に差し込んでください。
③後からボルト1本で固定してください。
⊘転倒の原因となりますので、クランプは弱い場所(薄板、かかり代の少ない所、丸棒等)には付けないでください。
⊘指定のボルトサイズ以外のボルトは使用しないでください。
➡感電・故障の原因となります。

4 デスクの組立て方法 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

■デスク付属品　※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

C ボルト(M6×35mm)	E ボルト用キャップ	カギ	I カバンフック	J トラスボルト(M6×25mm)	D 穴埋めキャップ	ナット用キャップ
WIN6BU635	SZC7BC60V (SZC9BC61R)	LTF8KD502	SZC9KF07V (SZC9KF07R)	WIN7BW625	SZC9AC18V (SZC9AC18R)	SZC9DC07V (SZC7DC06R)
×10	×10	1セット	×1	×1	×2	×3

注1 天板などに傷がつかないように、毛布などで保護してください。

注2 側板は、コンセント用ネジ穴がある側を外側にして組立ててください。

注3 C ボルト(M6×35mm) D 穴埋めキャップ ナット用キャップ の各1個はシェルフであまったものを使用します

STEP1、STEP3の場合

❶

❷

❸

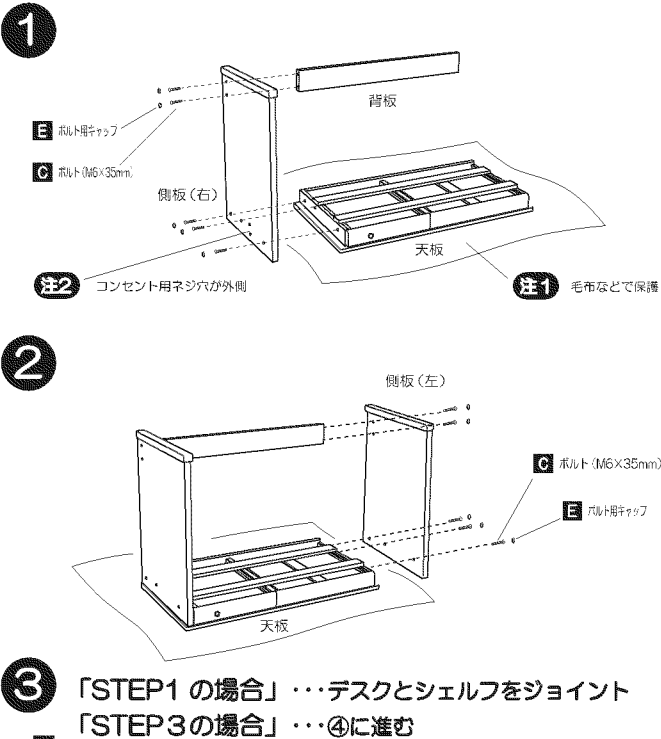
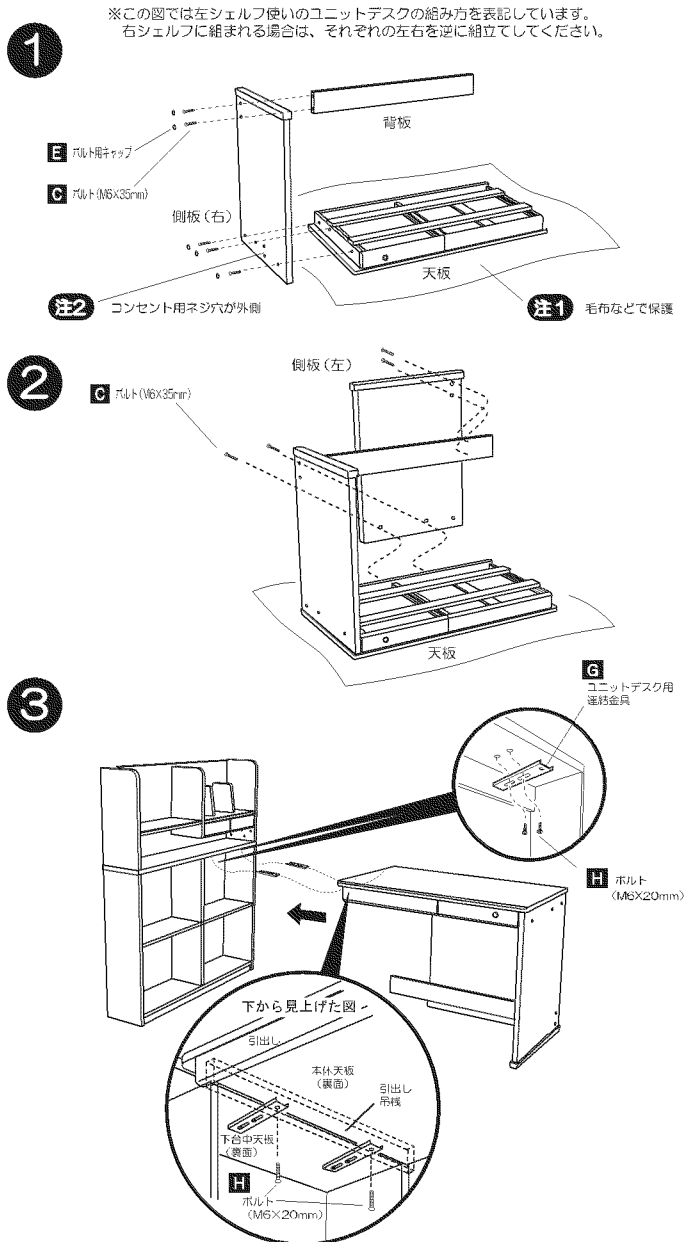
「STEP1 の場合」・・・デスクとシェルフをジョイント
「STEP3の場合」・・・④に進む

STEP2 (ユニットデスク) の場合

※この図では左シェルフ使いのユニットデスクの組み方を表記しています。
右シェルフに組まれる場合は、それぞれの左右を逆に組立ててください。

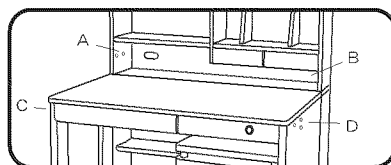
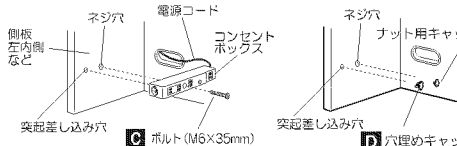
❶

❷

❸

❹ コンセントボックスの取付け

コンセントの取付部を右図A~Dより選択し、下図のように取付け

取付しない3箇所には、キャップを取付け

注3 C ボルト(M6×35mm) D 穴埋めキャップ ナット用キャップ の各1個はシェルフであまったものを使用します

❺ カバンフックの取付け

カバンフックの取付部を右図C・Dより選択し、下図のように取付け

取付けしない箇所には、ナット用キャップを取付け
(STEP2の場合は取付けしません)

■転倒防止金具の取付け方法

①転倒防止金具(本体)を家具のシェルフ上部に付属のネジ4本にて取付けてください。
　※取付け部は18mm以上の厚みで硬い木部を選んでください。
②壁または柱など(木部)、付属のネジ2本が取り付けられるところにフレームの穴をあわせてネジ止めしてください。
　※このとき、フレームの長さを任意に位置に合わせてください。

No.	部品名	数
1	転倒防止金具	1個
2	取付けネジ	6本

使用方法

■コンセントボックスの使用方法

（1）取付け方法

①前述の4ヶ所の取付け部にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。
②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・1本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。

⃠ 確実にコンセントを取り付けてください。
➡ 落下により、けが・破損の原因になります。

③電源コードは上棚の背板のコード通し穴を通して、室内の壁コンセントに接続してください。
※コンセントを上棚に取り付ける場合、お好みに応じて上棚の正面の向かって左、または右に取り付けることができます。
※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。

ネジ穴　電源コード　コンセントボックス　突起差し込み穴　C ボルト（M6X35mm）

（2）机のコンセントは4口で、合計1300ワット(W)までの家電製品が使用できます。

⃠ ご使用の家電製品の定格消費電力のワット（W）数の合計が1300ワット（W）以下となることを確かめてからご使用ください。
エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット（W）数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。
➡ 合計が1300ワット(W)を超えた状態でご使用になりますと、ブレーカーがはたらきコンセントが使用できなくなります。

⃠ ライト専用コンセントは、付属のライト以外には絶対に使用しないでください。
➡ 付属のライト以外の家電製品を使用されますと火災・発煙・過熱の原因になります。
机のコンセントで使用できない場合場合は室内の壁コンセントで家電製品をご使用ください。

⚠警告

⃠ このコンセントは固定した状態で使用する様に設計されています。
ボルトを外した状態での使用や延長コードとしてのご使用はおやめください。
➡ コードが早くいたんだり、火災・感電・破損の原因になります。
⃠ ネジ類をはずしたり、分解・修理・改造は絶対にしないでください。
➡ 火災・感電の原因になります。
⃠ プラグは完全に根元まで差し込んでください。
➡ 不完全ですと、火災、感電の原因になります。

（3）ブレーカーがはたらいた場合

ブレーカーピンが手前に飛び出します。
①コンセントボックスのすべてのコンセントから電源コードを抜いてください。
②ブレーカーピンを押し込んでください。

差込みプラグ　コンセント 交流100V　ライト専用コンセント　ライト差込みプラグ　コンセントボックス　ライト専用スイッチ　コンセント　ブレーカーピン（リセットボタン）

⃠ ご使用の家電製品の定格消費電力のワット（W）数の合計が1300ワット（W）を超える場合、その他過電流が流れる場合は、原因を取り除いたうえ、ご使用ください。
エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット（W）数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。
➡ 原因を取り除かずに、リセット操作を繰り返した場合、発煙・過熱・変形の原因となります。

■照明器具の使用方法　※（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（1）電源コードの接続

⃠ 電源コードの差し込みプラグを交流100ボルトのコンセントにしっかり差込んでください。 ➡ 火災・感電の原因になります。

⃠ コンセントの差し込み口がゆるまない状態でご使用ください。 ➡ ゆるんだままご使用になりますと、火災・過熱の原因になります。ゆるんでいる場合は必ず電気店で点検、修理を受けてからご使用ください。

（2）操作方法

●ライトの動作範囲は、右図のようになっています。
●セードをお好みの角度に調整してください。

⃠ 各部の動きが軽くなったり、セードが下がってきた場合は調節ツマミを右に強く回してください。

●セードは左右両端からそれぞれ約45°手前に可動します。

⃠ 各部にストッパーがついていますので無理に回さないでください。
➡ ライトの損傷や断線を引き起こし、火災・感電の原因になります。

（3）ランプの交換方法

⃠ ランプ交換の際は、必ず電源を切って、しばらくしてから行ってください。 ➡ 電源を切らないと感電の原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後に、ランプおよびランプ周辺をさわると、やけどの原因になります。

⃠ ランプは適合したランプを使用してください。（下表参照） ➡ 適合しないランプを使用すると、火災の原因になります。

⃠ ランプが寿命になりますと保護回路が働きランプは突然消灯しますが、故障ではありません。ランプを交換し約5分後に電源を入れ直せば正常に点灯します。 ➡ 一旦両方のスイッチを切ってから電源を入れ直してください。再点灯しない場合、スイッチON・OFF操作を2・3回行ってください。

① ランプルーバーの支持バネを指でつまみ、ルーバーを矢印の方向に引き出す。

② ルーバーを持って下側に外してください。

③ ランプをランプ支持バネから外し、ソケットから引き抜いてください。

④ ランプを右図の要領でソケットに差し込み、ランプ支持バネにはめ込んでください。

⑤ ルーバーを取り付けてください。

フックに差込んでからルーバーが支持バネに引っ掛かるまで押し上げてください。

⃠ ランプの取付けは丁寧に、根元がカチッとはまるまで確実に差し込んでください。 ➡ 落下・破損の原因になります。

■ワゴンの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

（1）キャスターの取付け・使用方法

①地板の裏にキャスター4個をしっかり差し込んでください。
②下段引出しの下のキャスター取付穴にキャスター（ストッパーなし）1個をしっかり差し込んでください。
●ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。
●移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

ストッパー付　前　地板　ストッパーなし　前板　ストッパーなし　ストッパーレバー　キャスター

（2）ワゴン昇降天板　上下操作方法

●天板を上げるとき

①両手で天板の左右を持つ。

②ゆっくりともち上げる。（11段階調節できます。）

●天板を下げるとき

①両手で天板の左右のレバーを上に引き上げる。

レバー

②レバーを引き上げたままゆっくりおろす。

⚠警告

●天板には20kgを超えるものをのせないでください。
➡ けが・破損の原因になります。（天板中央部垂直耐荷重:100kg）
●昇降天板は水平を保つようにして固定してください。
➡ 傾いたまま使っていると、天板の上のものが落ちたりして、けが・破損の原因になります。
●昇降天板の可動操作は、両手でゆっくり確実に行なってください。
➡ むりな力を加えたり固定が不完全ですと、けが・破損の原因にります。
●昇降天板面にものをのせた状態で、天板可動操作はしないでください。
➡ けが・破損の原因になります。
●天板や引出しの上に乗らないでください。
➡ けが・破損の原因になります。
●激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。
➡ 倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりする原因になります。
●水平を保つように置いてください。
➡ ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、けが・破損の原因になります。

■カギの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

●カギを差し込んで、右へ180°まわすと閉まります。
●カギを差し込んで、左へ180°まわすと開きます。

※カギは全機種共通の為、盗難防止の保障はいたしかねます。
⚠カギは最後まで差し込んでから操作してください。また、まわし過ぎないようにしてください。
➡カギや錠前の破損の原因になります。

閉　開

■引き出しの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

＜引出しのはずし方＞
①金属レール（デスク本体、ワゴン上・中引出し）
●引出しは、内面のレール取付ビス(左・右) 2本をはずすと抜き取れます。
②ワゴン下引出しローラーレール
●引出しを前まで引き出し、斜めに持ち上げると抜き取れます。

＜引出し内の耐荷重＞
デスク本体引出し…6kg
シェルフ小引出し…1kg
ワゴン上引出し……5kg
ワゴン中引出し……5kg
ワゴン下引出し……20kg